

Broaden your horizons ～さあ、視野を広げて!～

今年の夏、文部科学省の有識者会議で「2025年度以降、薬学部の新設や定員増加を認めない（不足している地域は例外）」とする方針が示されました。将来的な薬剤師余りや、近年の薬学部の急増による定員割れに対応するものだといえます。

近年では、18年に山口東京理科大学、20年に岐阜医療科学大学と国際医療福祉大学（福岡・大川キャンパス）、21年に和歌山県立医科大学と湘南医療大学で薬学部が開設されました。私が大学時代のころは国公立を合わせて46大学だったものが、現在は77大学79学部が増えていきます。22年と23年には新設予定はありませんが、24年に順天堂大学（浦安・日の出キャンパス）と国際医療福祉大学（成田キャンパス）が薬学部の開設準備中です。ちなみに、薬学部の開設を検討している大学がまだ3校あると、私の耳には入っています。

薬学部の入り口が広がったため、数学や物理・化学・生物といった基礎学力のない学生が入学してくるケースが激増しており、大学教育が以前より難しくなっています。また、以前は薬学部の希少価値が高く、それゆえに偏差値も高く、就職も有利でしたが、状況は大きく変わっています。

国家試験に携わる者として、教育の質の確保と「国試は通過点であり、社会で活躍することがゴールである」ということを伝えていきたいと思います。

メディセレスクール ファウンダー 児島 恵美子